

令和３年度第１回碧南市福祉有償運送運営協議会 会議録

日時

令和４年２月７日（月）午後２時３０分～午後３時００分

場所

碧南市役所 ２階 会議室１

出席者及び欠席者（敬称略）

- (1) 出席者 三島博、鈴木たか子、永坂幸子、潮田憲、新美惣英、佐野達郎、藤井嘉久、小湊孝政、山本政裕
- (2) 欠席者 鈴木隆史、古井恵、磯貝厚子
- (3) 参考人 中部運輸局愛知運輸支局輸送・監査担当 竹中暢康（委員代理）
NPO法人ゆるりん 築山佳林
NPO法人大樹の会 理事長 布間裕子
NPO法人大樹の会 犬塚宏子
- (4) 事務局 高齢介護課長 鈴木美奈子、福祉課長 杉浦浩二、福祉課社会福祉係長 河原 睦、
高齢介護課長補佐 小林圭介、高齢介護課高齢福祉係主査 古川京子

傍聴人 なし

議事の要旨

- １ あいさつ（三島会長）
- ２ 議題

(1) 碧南市福祉有償運送の必要性について（協議）

事務局が会議資料に基づき、碧南市の移動制約者、福祉有償運送事業等の状況を踏まえて、碧南市における福祉有償運送の必要性について説明をした。

資料の中で碧南市内の福祉有償運送の状況において、大樹の会の会員数及び運送回数に対し、運転者数や車両台数が多いことについて質問があった。事務局より、大樹の会は西尾市を拠点とする事業者であり、他市でも運送を行っている。全体では会員が多く、資料にある運転者数や車両台数は全体のものを掲載していることを説明した。

碧南市における福祉有償運送が必要であると全会一致で承認された。

(2) 「NPO法人大樹の会」の福祉有償運送事業の更新について（協議）

事務局が会議資料に基づき、「NPO法人大樹の会」の福祉有償運送事業の更新について説明した。「NPO法人大樹の会」が福祉有償運送の更新申請をすることについて適正な法人であると、とくに質疑等なく全会一致で承認された。

(3) 「NPO法人ゆるりん」の福祉有償運送運営状況について（報告）

事務局より会議資料に基づき、NPO法人ゆるりんの令和３年の運営状況を報告した。

(2) の議題、(3) の報告をうけて、両法人とも対価について変更がないが、最近のガソリン代の高騰により事業に支障がないか心配された質問があった。法人より、実際は影響が大きいですが、利用者の負担が増加し利用しづらくなることを懸念し、対価の引き上げはせずに実施していると回答した。

3 その他

中部運輸局愛知運輸支局 竹中委員代理より、各自治体の運営協議会に出席した際の全体的な状況について話があった。現在コロナ禍の中で、福祉有償運送の利用者が減っており、経営困難な状態にあるとよく話に聞くとのこと。また、運転者の不足で新規利用者の受け入れができなかったり、運転者自身も高齢となり運転の安全性が保てなくなっているとも。対策として福祉有償運送事業者に対し、市が主体となってドライバー講習の費用を負担したり、安全に関するチェックリストを運転者に配り、安全運転の意識を高めてもらうなど、事業が継続できるように支援している自治体もある。福祉有償運送の必要性がある中で、今後その継続性についても協議会で知恵を出し合っていけるとよいと提言があった。

近隣市の状況と比較して碧南市の福祉有償運送の実施状況はどうかと質問があり、竹中委員代理より、会員数としては他市では数十名と利用者がいるところもあり、碧南市は少ない方ではと説明された。

名鉄知多タクシー株式会社代表の佐野委員より、今年度をもって碧南営業所を廃止することについてごあいさつがあった。7車両で営業しているところ、昨今の情勢により撤退せざるを得なくなったが、福祉有償運送について今後も発展されることを願うと締めくくられた。